

平成23年度当初予算のあらまし

平成23年度の伯耆町一般会計及び特別会計の当初予算の概要をお知らせします。

1 一般会計

《当初予算額》

平成23年度

76億9,100万円

平成22年度

66億3,000万円

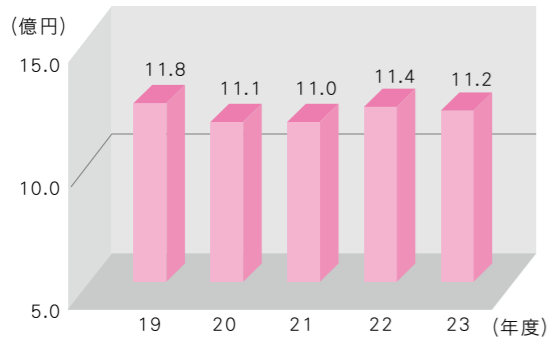
比較 10億6,100万円 (16%増)

平成23年度の伯耆町一般会計の当初予算は、大型建設事業（溝口小学校耐震等改修など）や福祉事務所の設置に伴う生活保護費などの増加によって、合併後で最大の予算規模となりました。公債費（返済金）の割合はまだ高く、厳しい財政状況は続いています。中長期的な視点で、町民生活の向上に結びつくような事業を展開します。

主な経費などの推移

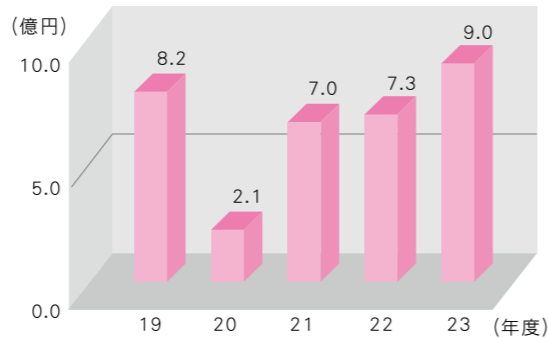
（19～21年度は決算額。22年度は3月補正後予算額）

人件費の推移



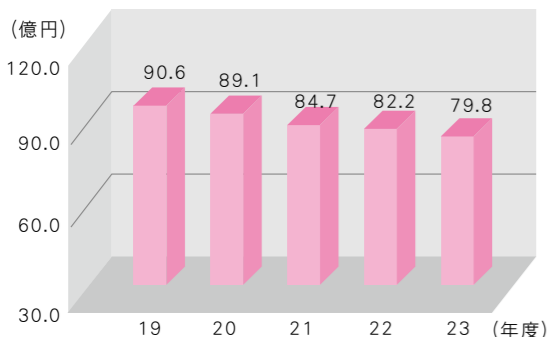
22年度は共済組合負担金の増額などにより増加していましたが、23年度は退職や期末手当の減などにより減額となっています。

建設事業費の推移



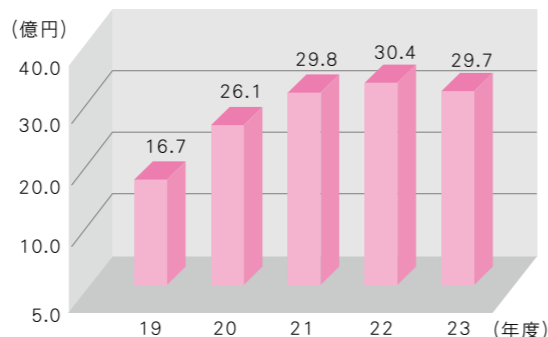
溝口小学校耐震等改修のほか、総合計画（後期）の事業開始に伴い、前年度に比べ増額となっています。

地方債(借金)残高の推移



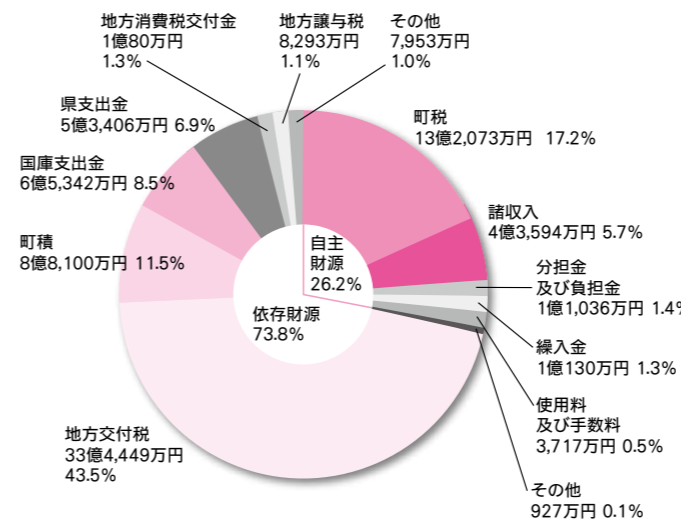
借入の抑制や繰上返済により、借金残高は減少傾向にあります。23年度は約6千万円の繰上返済を行い、将来負担の軽減を図ります。

基金(貯金)残高の推移



将来の財政負担に備え、基金の積み立てを行っています。23年度は水道遠方監視装置の整備などのため、約9千万円の取り崩しを行います。

歳入(収入)

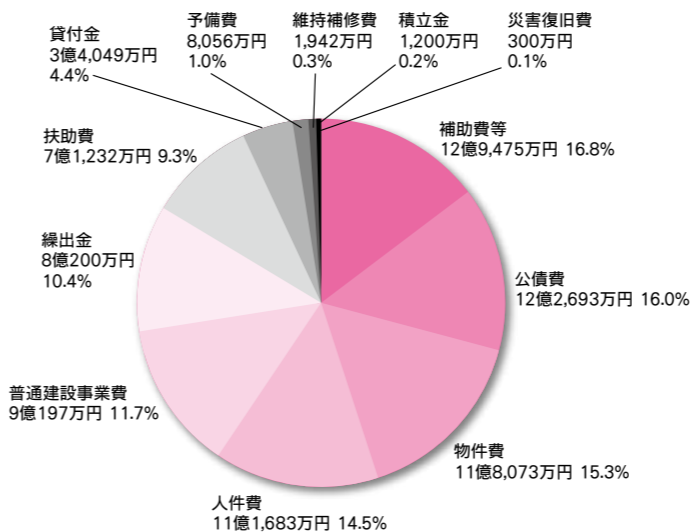


【主な特徴】

- 増えたもの
- 水道監視装置整備などにより繰入金（基金からの取崩など）が7,412万円増加
 - 溝口小学校耐震等改修事業などにより町債（借入金）が5億1,430万円増加
 - 生活保護費の支給などに伴い国庫支出金（国からの交付金など）が3億7,776万円増加
 - 福祉事務所の設置や町税の減収などにより地方交付税が9,447万円増加

- 減ったもの
- 不景気の影響などにより町税が1,552万円減少
 - 宝くじ助成金などの減少により諸収入が1,799万円減少

歳出(支出)



【主な特徴】

- 増えたもの
- 福祉事務所開設に伴い、生活保護費などの扶助費が2億8,620万円増加
 - 溝口小学校耐震等改修などの実施に伴い普通建設事業費が7億4,383万円増加
 - 雇用対策や除雪費の増額などにより、物件費（賃金・委託料など）が9,089万円増加
 - 水道事業会計へ遠方監視装置整備費の補助などにより、補助費などが1,165万円増加

- 減ったもの
- 退職や期末手当（職員給）の減などにより人件費が3,824万円減少
 - 下水道会計の公債費（返済金）の減少に伴い繰出金が2,641万円減少

平成23年度当初予算での主な事業

当初予算に盛り込まれた主な事業について新たな事業を中心に紹介します。

地域産業・経済の活性化

企業誘致推進事業【拡充】

1,170万円
進出企業が立地しやすい環境整備をするための、企業優遇制度の改正

大山高原スマートIC推進事業【拡充】

797万円
大山高原スマートIC開通に合わせた、PR活動や案内看板の整備

地域力の向上

町民の森(仮称)基本構想策定事業【新規】

100万円
土地開発公社が所有する土地について、森林資源の活用可能性など、今後の方向性を検討

高校生マナーアップ講座【新規】

20万円
将来のまちづくりの土台となる若者のスキルアップなど

宅地開発可能性基礎調査事業【新規】

100万円
将来的に宅地開発が可能と思われる箇所の基礎調査

環境に配慮したまちづくりの推進

EVタウン推進事業【新規】

249万円
公用電気自動車の導入、急速充電器を設置する企業に設置費助成

LED街灯整備事業【新規】

2,084万円
省エネルギー化が図れるLED街灯を設置する集落に費用の一部を助成

廃棄物減量化推進事業【新規】

9,013万円
ごみの減量化とリサイクル推進のため、モデル地区や事業所へ大型生ゴミ処理機の貸出、各家庭への水切りバケツの配布、紙オムツ燃料化装置などの導入

